

のだみらいを代表して、請願第5号全ての子供たちに行き届いた教育を求める請願に反対の立場で討論いたします。

まず、請願項目にある、野田市立小中学校に通う児童生徒の給食費を無償にすることは、私たちのだみらいとしても、心から願ってはおりますが、市独自で給食費を無償にするためには、毎年約6億円の財源を捻出しなければなりません。

そのような状況の中、現在野田市では、学校給食における野田産米購入費の全額公費負担、第3子以降の学校給食費無償化、給食費の改定に伴う増額分の負担や、経済状況が厳しい家庭におきましても、就学援助費制度の拡大をして財政的支援の実施をしていただいております。

また、給食費無償化に向け、市長会を通して千葉県への予算要望や国への無償化についての要望を実施している状況もあります。

本来、給食費の無償化については、公平公正の観点から、各自治体で行う施策でなく、国がやるべきものと考えております。

以上のことから、この請願に反対とさせていただきます。